

Elazzio

SEAT COVER



MITSUBISHI

デリカミニ
eKスペース

NISSAN

ルークス

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

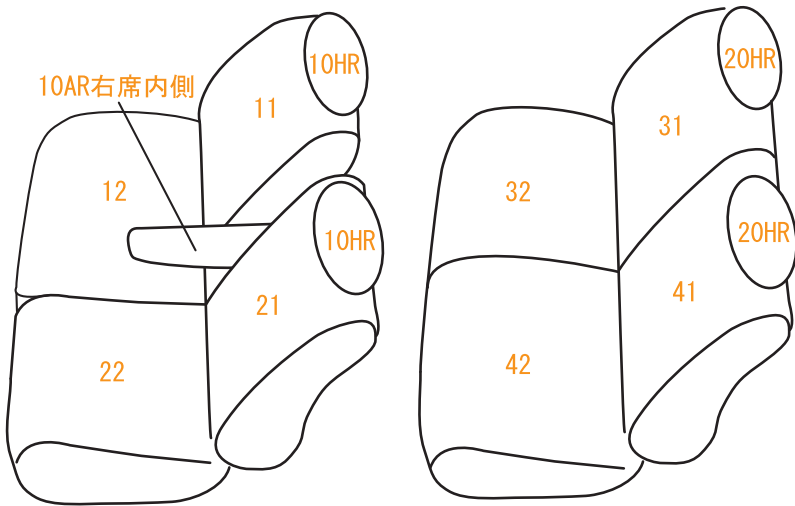
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…➤ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…➤ 3P～4P
運転席座面の装着方法	…➤ 5P～9P
助手席座面の装着方法	…➤ 10P～12P
1 列目 背もたれの装着方法	…➤ 13P～18P
2 列目 座面の装着方法	…➤ 19P～23P
2 列目（運転席側） 背もたれの装着方法	…➤ 24P～26P
1 列目 ヘッドレストの装着方法	…➤ 27P～28P
2 列目 ヘッドレストの装着方法	…➤ 29P
アームレストの装着方法	…➤ 30P
完成図	…➤ 31P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…➤ 32P～33P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (ソケット : 14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3P ▶

- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

運転席座面の装着方法



- 1** シート背面の下側です。
図の赤線で囲んでいる生地を固定を外します。
シート裏から伸びている固定用フックを外します。



- 2** フックは図のような形状をしています。
フック部分を広げるようにして生地側の金属フレームから取り外します。



- 3** フックの固定を外すと図のように生地をめくり上げることができ、シート背面の配線が見える状態になります。



- 4** アームレストの下側部分からカバーをかぶせます。
図のようにシートの裏側に生地を引っ掛けるようにしてカバーをかぶせてください。



- 5** 4番の部分の部分を起点としてカバーをシート全体にかぶせていきます。
シート内側の前角にカバーのラインを合わせてかぶせます。



- 6** シート外側の角にカバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



- 7** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
シートが高い位置に調整されていると隙間が狭いため、シートリフターでシート位置を下げると隙間が広くなり、生地を入れ込みやすくなります。



- 8** 入れ込んだ生地をシートの背面から生地を引き出します。
この際、配線に注意して生地を引き出してください。



- 9** 引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏側に入れ込みます。



- 10** 入れ込んだベルトをシートの前側から引き出します。



- 11** 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。



- 12** ベルトの固定方法は、①・ベルトをまずバックルの中央に通し、②・その後折り返してつまみ側に通します。③・通したベルトを引くとカバーの前後が引き絞られ固定されます。

ベルトを強く引きすぎると付け根の生地が裂けることがあるので注意してください。



- 13** シートベルトのバックル部分のカバーの端にベルトが付いています。
ベルトをシートの裏側へ入れ込みます。



- 16** シートリフターのレバーをシートから外します。
図の丸いキャップを、ヘラなどを隙間に差し込み、外します。



- 14** 入れ込んだベルトをシートの前側から引き出します。



- 17** キャップを外すと内側にネジが2本あります。
ドライバーを使用してネジを外します。ネジを2本とも外すとシートリフターのレバーが外れます。



- 15** 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。



- 18** リクライニングレバーを引いた状態になると、レバーの内側にネジがあります。
このネジを、ドライバーを使用して外します。



- 19** シートリフターのレバーの内側のシートの縁部分です。カバーが袋状になっているので、シートの縁にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。入れ込んだ生地をへうなどでしっかりと入れ込んでください。



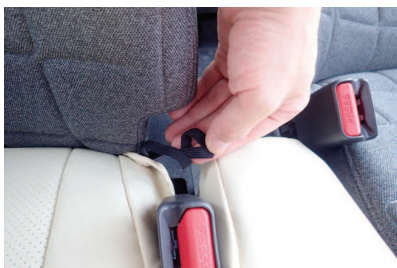
- 20** シート外側の付け根部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



- 21** シート外側の付け根部分の生地の端にゴムが付いています。



- 22** ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 23** シート内側の付け根部分にもゴムが付いています。



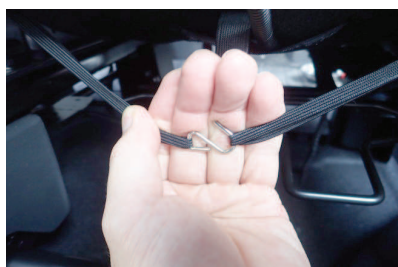
- 24** ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 25** シートの背面からシート外側の裏側を写した図です。
22番で入れ込んだゴムをシート背面の後ろ側から引き出します。



- 26** シートの背面からシート内側の裏側を写した図です。
24番で入れ込んだゴムをシート背面の後ろ側から引き出します。



- 27** 引き出した2本のゴムを付属の金属フックに引っ掛けて固定します。



- 28** 17番・18番で外した、シートリフターのレバーとリクライニングレバーの内側のネジを元通りに固定します。



- 29** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。

Step2

助手席座面の装着方法



- 1** シートの前側からラインを合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4** シート裏にトレイがある場合は、トレイを引き出しておきます。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5** 3番で引き出した生地の上に付いているベルトを、シート裏を通して前側に入れ込みます。



- 3** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
この際、配線に注意して生地を引き出してください。



- 6** 入れ込んだベルトをシートの前側から引き出します。
引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルを通して固定します。



- 7** シートの外側の縁部分です。カバーが袋状になっているので、シートの縁にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 10** シート内側の前側です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



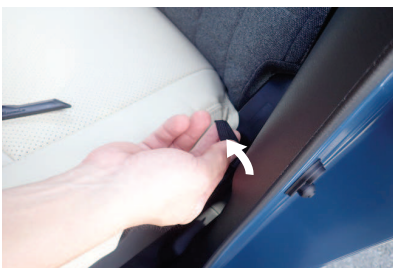
- 8** カバーの端に付いている固定部材を生地と一緒に、縁の隙間に入れ込みます。固定部材が入れ込みづらい場合は、ヘラなどを使用して縁の隙間を広げるようにして作業を行ってください。



- 11** シート内側の後ろ側です。こちらもカバーの端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。矢印部分の生地をシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込んでください。



- 9** 生地を固定できたら、カバーを図のように引っ張り、簡単に固定が外れないことを確認してください。



- 12** シート外側の付け根部分です。カバーの端に付いているゴムを生地の隙間に入れ込みます。



- 13** シート内側の付け根部分です。
カバーの端に付いているゴムをシートの隙
間に入れ込みます。



- 16** カバーのラインを整えて、助手席座面の完
成です。



- 14** 12番・13番で入れ込んだゴムを、シー
ト背面の後ろ側から引き出します。



- 15** 引き出した2本のゴムを付属の金属フック
に引っ掛けて固定します。

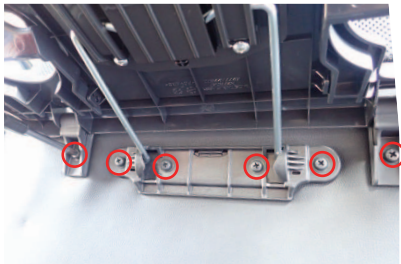
Step 3

1 列目背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1** シートバックテーブル（パーソナルテーブル）装備車は、テーブルをシートから外します。テーブルを起こして裏側に付いているネジをドライバーを使用して外します。ネジは合計6本あります。



- 4** コンビニフックが装備されている車両は、コンビニフックをシートから外します。フックを出すとき奥にネジがあるのでドライバーを使用して外します。ネジを外すとコンビニフックが外れます。



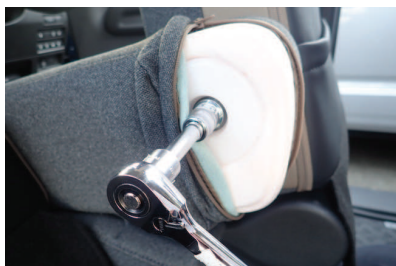
- 2** ネジを外すと図のようにテーブルが外れます。テーブルは元に戻すまで邪魔にならない場所で保管してください。



- 5** アームレストをシートから外します。まずアームレストの後ろ側のファスナーを開けます。



- 3** シートに外したネジを固定しておきます。これはシートカバーを装着した後、カバーに穴を開ける必要があるため、その際の目印になります。



- 6** ファスナーを開けて生地をめくると、内側にボルトがあります。ボルトを、ソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。ボルトを外すとシートからアームレストが外れます。



- 7** カバー側面のファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 8** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側の縁に生地をしっかりと入れ込みます。



- 9** 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 10** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
運転席はシートが上がった状態だと隙間が
大変狭いので、シートリフターでシートを
下げて生地を入れ込んでください。



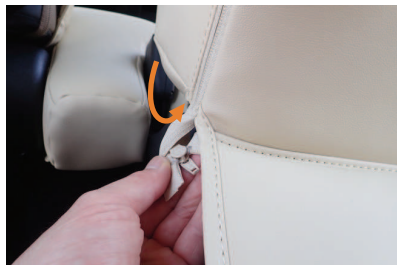
- 11** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
この際、配線に注意して生地を引き出してく
ださい。
図では中央の切り込みのみになっていますが
本来の仕様は両端にも切り込みがあります。



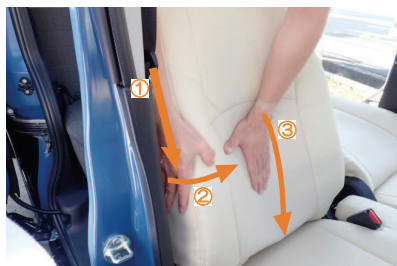
- 12** 図は助手席の背面です。
5ページ**3番**の生地を折り畳みながらめく
り上げます。
運転席はそのままめくり上げていただい
ても問題ありませんが、助手席にUSBポ
ートが付いている場合は、USBポートを
めくり上げた生地で覆わないように生地を折
り畳みめくり上げてください。



- 13** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーは左右少しずつ均等に閉じていくようにしてください。
ファスナーを閉じる際は、無理に閉じようとするとファスナーが破損する恐れがあるので注意してください。



- 14** ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



- 15** シートに生地を馴染ませていきます。まず①シート側面の張り出し部分に生地がしっかりと張るように馴染ませて、②中央へ寄せていきます。③中央へ寄せた生地を下へ撫で下ろしていきます。下側で余った生地を **11番** と同様にシートの背面から引き出して生地をシートに密着させていきます。



- 16** 助手席にUSB充電ポートが装備されている車両は、生地をめくり、カバーの加工穴と充電ポートの位置が合っていることを確認してください。ずれている場合はカバーの装着を見直してください。



- 17** **11番** で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



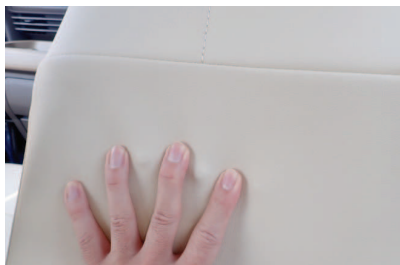
注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

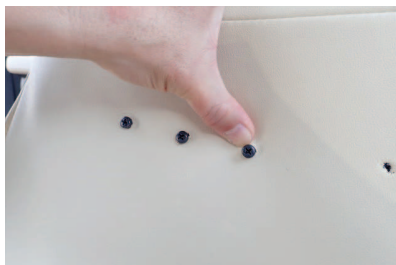


- 18** 助手席の内側に付いているスライドレバーの縁に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。

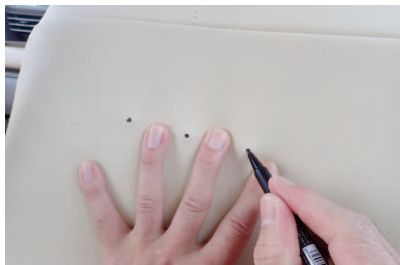
シートバックテーブル装備車は、シートカバーに穴開け加工を行っていただきます。
シートカバーにあらかじめ穴を開けてしまうと、わずかな装着位置のずれでも加工穴がはみ出す可能性があるため、シートカバーには穴を開けておりません。あらかじめご了承ください。
また、穴開け加工後はシートカバーの装着状態を見直すことができなくなります。カバーのずれなどがないことを十分に確認した上で、作業を始めてください。



- 19** カバーの背面を軽く押さえて、**3番**でシートに戻したネジの位置を確認します。



- 22** 切り込みを入れて**3番**で固定したネジがカバーの表側に出た状態です。
まずはネジの頭がカバーから出てくる程度
の大きさに開けておいてください。



- 20** ネジの位置にペンなどで印を付けます。



- 23** ネジをすべてカバーから出した状態です。
ネジをシートから外してテーブルを戻して
いきます。



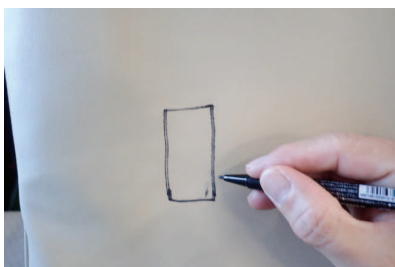
- 21** 印を付けた部分をハサミなどで切り込みを入れます。
切り込みを入れる際は、いったんカバーの
固定を解除して、生地を浮かせて作業を行
うことをお勧めします。ハサミなどでシ
ートに傷を付けないように慎重に作業を行
ってください。



- 24** テーブルをシートに固定します。
ネジ穴の位置を確認しながら、慎重に作業
を行ってください。
ネジ穴の位置が合わない場合は、**21番**
で入れた切り込みを少しずつ広げて、調整
してください。また矢印部分の裏側のパーツ
が外れたままテーブルを固定しないように
注意してください。
ネジは外側から固定すると作業が行いやす
くなります。



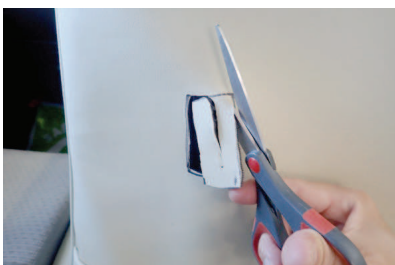
25 テーブルを固定すると図のようになります。



28 確認した位置を図のようにペンで印を付けます。
はじめは少し小さめに印を付けるようにしてください。



26 テーブルを格納すると図のようになります。



29 印を付けた部分をハサミなどで切り取ります。
この際、シートを傷つけないように慎重に作業を行ってください。

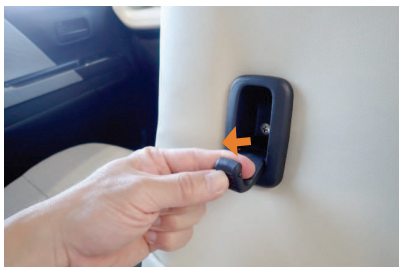
コンビニフックの戻し方



27 運転席の背面にコンビニフックが付いている車両は、カバーに穴を開けてコンビニフックをシートに戻します。
穴開け加工後はシートカバーの装着の見直しができなくなります。カバーのずれがないことを確認して作業を始めてください。
まず、カバーの背面を軽く押さえて、コンビニフックが固定されていた位置を確認します。



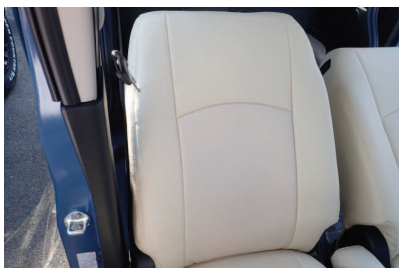
30 コンビニフックを元通りに固定します。
固定しづらい場合は開けた穴が小さい可能性があります。少しずつ穴を広げて試してください。



- 31** コンビニフックがシートに固定できたら、フックを軽く引っ張り、しっかり固定できているか確認してください。



- 32** コンビニフックの取り付け完成です。



- 33** カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。
 助手席の取り付けについては、**12番・16番・18番**の説明を確認して下さい。
 その他は同様の手順で取り付けます。

Step4

2列目座面の装着方法



- 1** 運転席側の座面にシートカバーを装着する際は、シートを図のように運転席側を後ろへ、助手席側を前へスライドさせて作業を始めてください。
カバーの固定に際してシートを移動させながら作業を行ってください。



- 2** ラグジュボードを起こすとラグジュボードの付け根辺りとシートの背面に固定されている生地があります。
この生地はマジックテープで固定されているので、生地をめくり、シートから外します。



- 3** 図は運転席側の内側のシートの付け根部分です。この部分からシートカバーを固定していきます。
図では助手席側のラグジュボードを起こした状態になっています。



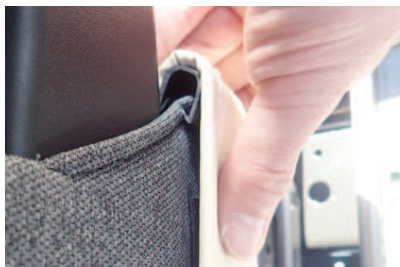
- 4** シートの内側からカバーをかぶせていきます。
運転席側と助手席側の隙間に生地を入れ込みます。



- 5** 3番の位置にカバーの端に付いているフックを引っ掛けて固定します。



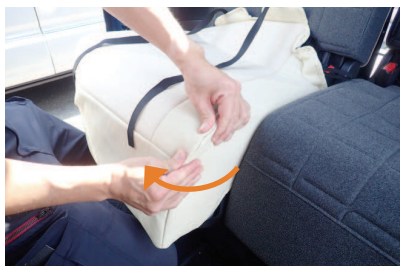
- 6** 図はシートカバーの一部を切り取ったものを使用しています。
フックを生地と一緒に折り返します。



- 7** 折り返したフックをシートの縁に引っ掛けて固定します。



- 10** シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 8** 7番で固定した位置を起点として、シート全体にカバーをかぶせていきます。シート内側の角にカバーのラインを合わせます。



- 11** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9** シートの外側にカバーを包み込むようにかぶせていきます。



- 12** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。図ではラゲッジボードを起こした状態にしています。



- 13** 引き出した生地の手端に付いているベルトをシート裏を通して前側へ入れ込みます。



- 16** シートの裏側まで生地をしっかりと入れ込んでください。



- 14** 入れ込んだベルトをシートの前側から引き出して、前側のカバーの端に付いているバックルを通して固定します。バックルの固定方法は6ページ**12番**を参考にしてください。



- 17** シートの外側です。図の位置にカバーを固定するフックが付いています。フックをシート裏に入れ込みます。



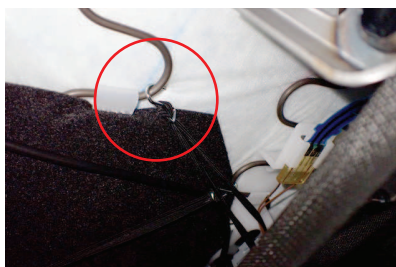
- 15** シート前側のスライドレバーの隙間に生地を入れ込みます。



- 18** シート裏に入れ込んだフックをシート裏にあるフレームに引っ掛けて固定します。



- 19** シート外側の後ろ側にもフックが付いています。こちらも同様にシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



- 22** 入れ込んだゴムをシートの裏から引き出して付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 20** フックを固定すると図のようになります。



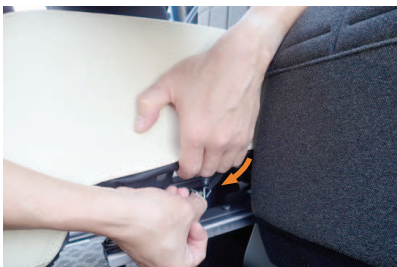
- 23** シート内側の付け根部分です。こちらはカバーの端にゴムが2本付いています。①・②の説明は **24番**・**25番**を確認してください。



- 21** シート外側の付け根部分です。カバーの端にゴムが付いています。ゴムをシートの隙間に入れ込みます。



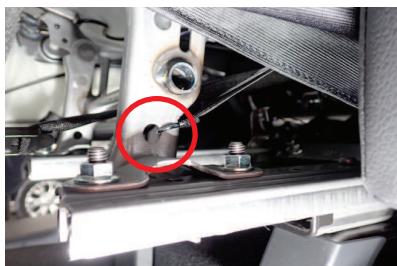
- 24** ①のゴムをシート裏側から前側へ入れ込みます。②のゴムは外側のゴムと同様に、シートの裏に引っ掛けて固定してください。



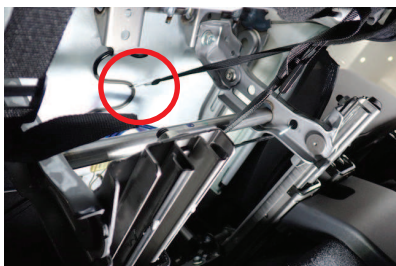
- 25** ①のゴムをシートの裏から引き出して、付属の金属フックを取り付けます。



- 28** シート内側の図の部分にもゴムが付いています。ゴムを純正生地の間隙を通してシートの裏側に入れ込みます。



- 26** 金属フックを図の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 29** 入れ込んだゴムをシートの裏から引き出して、付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 27** ①のゴムにある程度引っ張るテンションが掛かっていないと、シートを倒して起こした際に、図のようにシートベルトのバックルに生地が引っ掛かる場合があります。ゴムのテンションに気を付けて固定してください。なお、カバーの装着位置が後ろ気味になっていても同様の症状が起きます。ゴムの固定を見直してもバックルに生地が引っ掛かる場合は、カバーの装着位置を前側にずらすように調整し直してください。



- 30** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

2列目（運転席側）背もたれの装着方法



- 1** カバー外側面のファスナーを開いた状態にしておきます。
カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。



- 4** シートの背面から生地とマジックテープを引き出します。



- 2** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 5** 引き出したマジックテープをチャイルドシート固定用のアンカーに通します。
この作業を行わないとISOFIX対応のチャイルドシートの固定ができなくなりますのでご注意ください。



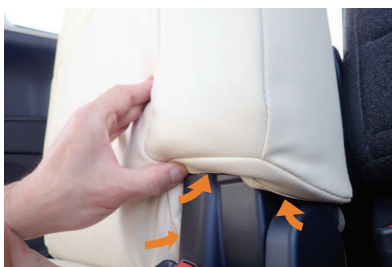
- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地の両端から出ているマジックテープも同様に入れ込んでください。



- 6** 生地とマジックテープを引き出すと図のようになります。



- 7** カバー外側のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際は、無理に閉じようとするとファスナーが破損する恐れがあるので注意してください。



- 10** 背もたれ内側の付け根部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



- 8** ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



- 11** 背もたれ外側の付け根部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



- 9** 6番の生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 12** シート内側肩口のスライドレバーの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。レバーを引いた際に見えてくるネジを、ドライバーを使用して緩めると作業が行いやすくなります。



- 13** シート外側の肩口のリクライニングレバーの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。
レバーを引いた際に見えてくるネジを、ドライバーを使用して緩めると作業が行いやすくなります。



- 14** 生地を入れ込むとレバー周りは図のようになります。



- 15** 19ページ2番で外した生地を、元通りに固定します。
シート側はカバーに付いているマジックテープを使用してください。



- 16** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。

Step 6

1 列目ヘッドレストの装着方法



- 1 ヘッドレストには運転席に「運転席」と印字したタグが付いていますが、カバーは運転席用・助手席用と分けておりません。運転席、助手席のヘッドレストともに形状は同じですので、1列目のヘッドレストにはシートカバーに「1OHR」とタグの付いたカバーを装着してください。



- 4 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



- 2 カバーの開口部を図のように裏返しておきます。裏返した状態でヘッドレストの先端まで生地が張るようにカバーをかぶせます。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- 5 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストを裏返してカバーの生地をめくると、生地の縫い代が見えます。縫い代とは、シートカバーの生地を縫うときに、縫い目の裏側にくる生地のことです。



- 3 裏返していた部分を均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせていきます。この際、生地の一部だけ掴んで引っ張ると、生地が裂けてしまいます。図のように両手を使い、カバーを広範囲に掴んでゆっくり引き下げていくようにしてください。またヘッドレストの中央部分が一番幅が広がっているため、特に注意してカバーをかぶせていってください。



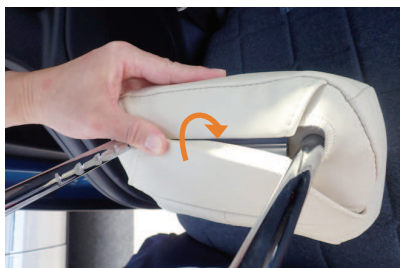
- 6 縫い代を矢印の方向に入れ込んでおくと、カバーを固定した後、表側の縫い目がきれいに整います。



7 カバー両端のマジックテープを固定します。



10 カバーを固定したヘッドレストの裏側は図のようになります。



8 プラスチック製フックを固定します。



11 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



9 プラスチック製フックの断面図です。プラスチック製フックの固定方法は、板状のプラスチックを生地と一緒に折り返します。そしてフック状のプラスチックに板状のプラスチックと生地を一緒に挟み込み固定します。板状のプラスチックのみをフック状のプラスチックに引っ掛けようとする、すぐ外れてしまうので、注意してください。

Step 7

2 列目ヘッドレストの装着方法



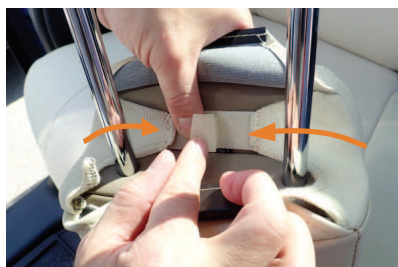
- 1** カバーの開口部を図のように裏返しておきます。裏返した状態でヘッドレストの先端まで生地が張るようにカバーをかぶせます。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- 2** 裏返していた部分を均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせていきます。この際、生地の一部だけ掴んで引っ張ると、生地が裂けてしまいます。カバーを広範囲に掴んでゆっくり引き下げていくようにしてください。



- 3** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



- 4** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏側で1列目のヘッドレストカバーと同様に、縫い代を整えて、マジックテープとプラスチック製フックを固定します。



- 5** カバーを固定したヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 6** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

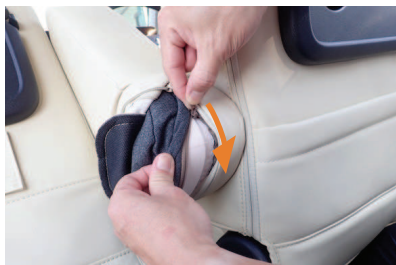
Step 8

アームレストの装着方法

先端



- 1 カバーの開口部を図のように裏返して、アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 4 純正シート地のファスナーを閉じます。



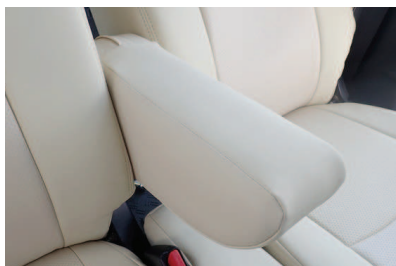
- 2 アームレストのラインからカバーがずれないように全体にかぶせていきます。まずアームレストの内側のみカバーを図のようにかぶせます。



- 5 外側のカバーもアームレストにかぶせます。カバーのファスナーを生地をしっかりと寄せて慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際は、無理に閉じようとするとはファスナーが破損する恐れがあるので注意してください。

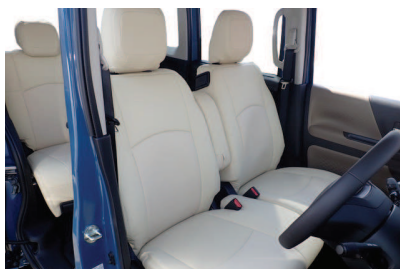


- 3 2番の状態からアームレストをシートに固定します。



- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

完成図



1 列目



1 列目・アームレスト使用状態



1 列目背面
(シートバックテーブル装備車)



1 列目背面
(コンビニフック装備車)



2 列目



ラゲッジ側から

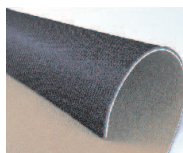


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816